

2020年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2021年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

| | |
|-------|-----------------------------|
| 講座 | 国際比較経済、経済理論・統計、 政策科学、経営学 |
| プログラム | 東アジア中核人材育成、政策実 践、地域公共政策 |
| 専門科目 | 経済理論・政策（マクロ経済学） |

以下の問に解答しなさい。

問 (1)から(4)の設問のすべてに解答しなさい。

財市場、貨幣市場、および労働市場を表すマクロ経済モデルを考える。Y を国民所得（あるいは産出量）、r を利子率、P を物価水準とする。また、C(Y)を消費関数、I(r)を投資関数、L(Y, r, P)を名目貨幣需要関数、M を名目貨幣供給量、G を政府支出とする。ここで、諸関数は

$$C(Y) = cY, \quad 0 < c < 1, \quad I(r) = -ar, \quad a > 0, \quad L(Y, r, P) = kPY - br, \quad k > 0, \quad b > 0$$

のように与えられる。ただし、c, a, k, b は定数である。このとき、

- (1) 物価水準 P を一定として、財市場の均衡式および貨幣市場の均衡式を求めなさい。ただし、ここで言及されていない変数（輸出、輸入、租税等）は無視しなさい。
- (2) 設問(1)の設定での均衡国民所得を求めなさい。また、総需要曲線、すなわち物価水準 P と、財市場と貨幣市場の同時均衡を満たす国民所得 Y との関係を表す曲線をできるだけ正確に図示しなさい。

(3) 労働市場が関係式

$$Y = \min\{sP, Y_F\}$$

で記述されているとする。ただし、s>0 は定数、Y_F は完全雇用の生産量であり一定とする。ここで、A ≤ B のとき min{A, B}=A、A > B のとき min{A, B}=B を意味する。総供給曲線、すなわち上の労働市場の関係式を満たす Y と P をできるだけ正確に図示しなさい。

- (4) 財市場、貨幣市場、労働市場をすべて考慮したときに、政府が「完全雇用を達成しつつ、物価水準は可能な限り低くする」ことを政策目標にしたとしよう。このとき政府は支出水準 G をいくらに設定すればよいか説明しなさい。ただし、名目貨幣供給量 M は十分に小さいと仮定する。

以上